

令和元年度 ICT活用工事の取組に関するアンケート

アンケート概要

- 対象 : 建設業協会主催の講習会(R2.1.17)に参加した建設業者等
- 方法 : 建設業協会員へメールを送付
- 実施期間 : 令和2年2月
- 回答数 : 46件

令和元年度ICT活用工事(土工)実績

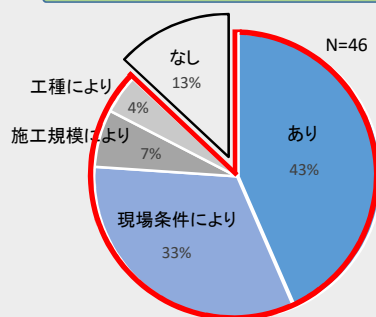
- 発注者指定型 : 18 工事
 - 施工者希望型 : 120工事
(11工事で実施を希望)
- 合計29工事で実施**

アンケート内容

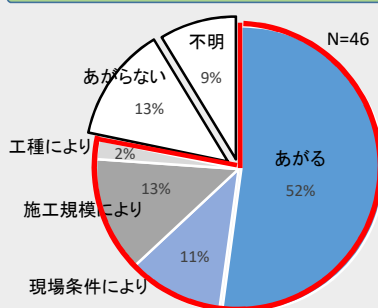
- 問1)あなたが、受注(担当)する工事が、ICT活用工事の**施工者希望型の場合**、実施する意向はありますか。
- 問2)ICT活用工事は**生産性向上につながる**と思いますか。
- 問3)施工者希望型ICT活用工事の**実施を希望しない理由**はどこにありますか。
- 問4)ICT活用工事について、**負担を感じる部分**はどこにありますか。



Q1 実施する意向は？



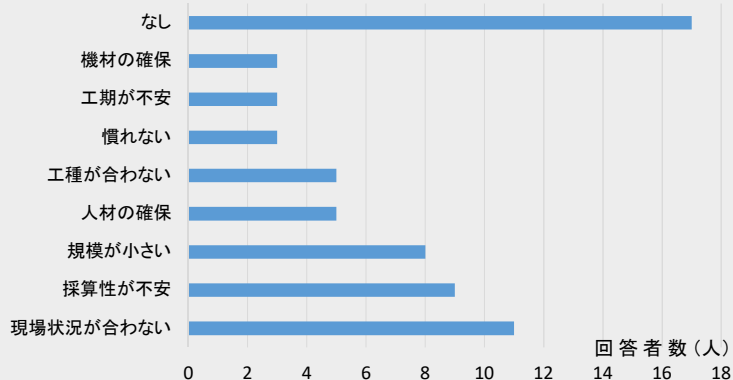
Q2 生産性向上につながるか？



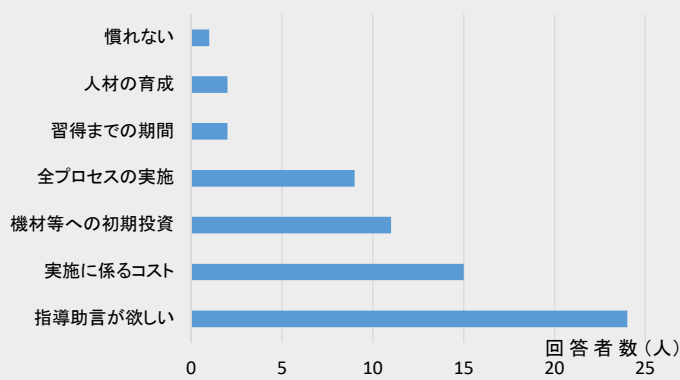
Q1 8割以上が**実施する意向**があると回答。
内半数が**現場条件、施工規模、工種**によると回答。

Q2 8割程度が**生産性向上に寄与**すると考えている。
技術的課題があるとの意見もある、
条件により**実施を検討**すると回答した中にも、
生産性は向上するとの回答あり。

Q3 その他 実施しない理由(複数記入可)



Q4 負担を感じる部分(複数記入可)



Q3 実施しない理由は、現場状況が合わない・規模が小さい・工種が合わないという**施工の条件によるもの(24人)**と、採算性・機材人材の確保など**コストに関するもの(17人)**、慣れない・時間を要するため**工期が不安など浸透に関するもの(6人)**に意見が多かった。

Q4 負担を感じる部分は、**コストに関するもの(28人(内機材の投資11人))**、経験がない(慣れていない)ため丁寧な**指導助言が欲しい(26人(内人材の育成2人))**、**全プロセスを必ず実施しなければならない点(9人)**に意見が多かった。

令和2年度以降の取組方針

適切な積算基準の設定

最新の積算基準を反映させていくとともに、**見積で対応すべきもの**については適切に対応していく。

ICT部分活用工事の導入

3次元起工測量・3次元設計データ作成を工事から**分離して発注する方式の試行**。**プロセスの一部を実施する**ICT部分活用工事の試行検討。

指導助言体制の確立

H30に実施した国交省モデル支援事業を参考に、**受注者が求める指導助言を行える体制**を整理していく(関東地整3Dチャレンジ型の試行導入検討)。

ICT活用に適した条件の研究

施工規模や工種等が、ICT活用に適した条件について情報収集等を実施し整理するとともに、**発注者指定工事の選定の基礎データ**としていく。